

# 津軽海峡及び周辺地域のムダマハギ型漁船コレクション67隻

## 青森県・青森市



北日本地域の木造船に見られる大きな特徴は、ムダマハギと称する独特の構造の漁船が多いことである。ムダマハギとは、船底にカツラやブナ・ヒバ・スギなどの割り抜き材を使用し、平底の船底に舷側板（タナイタまたはカイグといわれる）を接ぎ合わせた構造をいう。こうした漁船は東北地方の北部、太平洋沿岸では岩手県久慈市付近、日本海沿岸では秋田県能代市付近以北から北海道にかけて分布している。

船の発達過程はこれまでの研究により、一木で構成された丸木船から板合わせの構造船に順次変化し、その過渡的段階の構造として、割り抜き材と板材を合わせた準構造船ともいうべきオモキ造りの存在が明らかにされている。ムダマハギは、構造的にオモキ造りに連なるものである。

みちのく北方博物館では、国の重要有形民俗文化財として指定されているムダマハギ型漁船67隻を収蔵している。

**TOPICS** ・海外の木造船も多数ある。

### お問い合わせ先

みちのく北方漁船博物館

TEL / 017-761-2311

URL / <http://www.mtwbm.com/>

### 【交通】

バス / 青森市営バス 油川、野木和団地、後潟線にて、  
沖館仲通りまたは、沖館消防分署前下車。

徒歩10分

車 / JR青森駅から5分

